

野菜の需給・価格動向レポート(平成26年5月12日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	4月の価格情報			生育及び価格の5月の見通し			
	平年価格 (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額					
		上旬	中旬				
葉 茎 菜	キャベツ	84.37	83	97	86	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：19,220t (100)</li> <li>主産地：千葉 (39)、神奈川 (37)、茨城 (8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産及び神奈川産は、天候に恵まれ、適度な降雨により生育は順調であることから、平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。</li> <li>平年並み若しくはやや多めの出荷が見込まれることから、価格は平年並み若しくはやや下回る見込み。</li> </ul>
		86.69	69	77	74	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：5,000t (100)</li> <li>主産地：愛知 (31)、兵庫 (18)、大阪 (9)、和歌山 (9)、三重 (7)</li> </ul>	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	264.1	221	211	236	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量：3,840t (100)</li> <li>主産地：茨城 (33)、千葉 (33)、埼玉 (18)、輸入 (4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、天候に恵まれ、病害の発生もなく生育は概ね順調なことから、前年並みの出荷の見込み。千葉産は、終盤期で徐々に減少するものの、出荷が多かつた前年並み程度の見込み。埼玉産は、中旬には出荷を終える見込み。</li> <li>全体として平年並みの出荷が見込まれることから、価格は概ね平年並みの見込み。</li> </ul>
		334.73	240	267	311	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量：230t (100)</li> <li>主産地：鳥取 (24)、群馬 (11)、徳島 (9)、大分 (9)、奈良 (8)、埼玉 (6)</li> </ul>	
	はくさい	67.05	59	40	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：6,540t (100)</li> <li>主産地：茨城 (96)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、天候に恵まれ適度な降雨もあり、生育は順調なことなどから、豊作であった昨年の水準には至らないものの、平年よりやや多めの出荷の見込み。</li> <li>茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
		77.96	58	51	62	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,600t (105)</li> <li>主産地：茨城 (40)、大分 (19)、熊本 (14)、長野 (9)</li> </ul>	
	ほうれんそう	376.1	403	608	482	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,440t (90)</li> <li>主産地：群馬 (36)、茨城 (28)、埼玉 (11)、岩手 (11)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬産は、平坦地から高冷地へと産地の移行時期となる。高冷地の生育は順調なことから中旬以降は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、現在低温の影響を受け生育が一時停滞しているものの、今後、気温の上昇とともに生育は回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>群馬産及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っていた価格は平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		396.89	393	566	494	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：490t (89)</li> <li>主産地：岐阜 (29)、福岡 (45)、群馬 (7)</li> </ul>	
	レタス (結球)	156.23	122	147	171	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：7,920t (100)</li> <li>主産地：長野 (37)、茨城 (36)、群馬 (14)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野産は当初は大雪の影響による出荷の減少が懸念されたが、大きな遅れもなく、生育は順調なことから、出荷は平年並みの見込み。茨城産は、適度な降雨と気温により生育は順調で、現在は多めの出荷となっているが、今後は平年並みになる見込み。</li> <li>長野産及び茨城産で平年並みの出荷が見込まれることから、価格は、平年並みで推移する見込み。</li> </ul>
		165.00	125	149	176	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,600t (98)</li> <li>主産地：長野 (48)、兵庫 (38)</li> </ul>	
果 菜	たまねぎ	91.24	134	112	106	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：14,380t (95)</li> <li>主産地：佐賀 (68)、兵庫 (8)、輸入 (3)、千葉 (3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀産は、連休明けから露地早生の出荷が始まり、作柄も概ね良好なことから、全体的には平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>佐賀産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年に近づく見込み。</li> </ul>
		91.24	137	115	119	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：4,100t (75)</li> <li>主産地：佐賀 (48)、兵庫 (38)、北海道 (7)</li> </ul>	
	きゅうり	253.93	265	262	258	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：8,080t (90)</li> <li>主産地：埼玉 (29)、群馬 (19)、千葉 (15)、茨城 (15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬産及び埼玉産は、生育は順調なものの大雪によるハウスの倒壊などにより、引き続き少なめの見込み。茨城産は、4月下旬の曇雨天の影響で生育の遅れがあるものの、順調で病害もないことから今後は平年並みの出荷の見込み。</li> <li>群馬産及び埼玉産の出荷が少なめと見込まれることに加え、5月からは平年の価格水準が下がる時期にもなることから、価格は平年を上回って推移する見込み。</li> </ul>
		242.77	243	238	236	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,800t (91)</li> <li>主産地：宮崎 (44)、高知 (17)、徳島 (14)、愛媛 (9)</li> </ul>	
	トマト (大玉)	339.78	317	321	316	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：10,870t (100)</li> <li>主産地：栃木 (23)、熊本 (23)、愛知 (12)、茨城 (10)、千葉 (9)、埼玉 (4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木産は、気温の上昇とともに品質の回復が見込まれ、病害の発生もないことから、平年並みの出荷の見込み。熊本産は、天候に恵まれ生育は順調なことに加え、作付面積の増加もあり前年をやや上回る出荷の見込み。愛知産は夜温がやや低いため、若干の生育遅れが見られるが病害の発生も少なく、概ね順調であるため、総体的には平年並みの出荷の見込み。</li> <li>熊本産の出荷が多めと見込まれるもののが5月からは平年の価格水準が下がる時期にもなることから、価格は平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		321.78	320	321	312	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,100t (90)</li> <li>主産地：熊本 (61)、福岡 (15)、愛知 (9)</li> </ul>	
	なす	347.77	326	331	344	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：4,220t (95)</li> <li>主産地：高知 (45)、福岡 (21)、群馬 (7)、佐賀 (6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知産は、病害虫の発生もなく気温の上昇と日照量の増加に伴い、順調な生育となっており、平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。福岡産は、生育は概ね順調であるが、夜温が上がり少なめの出荷となつており、今後は平年並み若しくはやや少なめの出荷の見込み。</li> <li>高知産及び福岡産全体では概ね平年並みの出荷が見込まれることから、平年並みで推移する見込み。</li> </ul>
		330.95	316	319	337	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,150t (100)</li> <li>主産地：高知 (31)、熊本 (19)、大阪 (18)、福岡 (15)、岡山 (10)</li> </ul>	
	ピーマン	308.36	384	355	366	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,700t (100)</li> <li>主産地：茨城 (74)、高知 (11)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、4月下旬の天候不順による影響で生育に若干遅れが見込まれるもの、総じて順調であることから、平年並みの出荷の見込み。高知産は、気温の上昇と日照量の増加に伴い、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>茨城産及び高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。</li> </ul>
		283.1	334	307	307	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：500t (80)</li> <li>主産地：宮崎 (58)、高知 (18)、茨城 (11)</li> </ul>	
根 菜	だいこん	86.59	63	74	87	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：9,430 (98)</li> <li>主産地：千葉 (80)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、作付面積の減少に加え、天候不順の影響により生育が遅れたことから、平年並み若しくは平年をやや下回る見込み。</li> <li>千葉産の出荷が平年をやや下回ると見込まれることから、平年を下回っていた価格は平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		94.24	64	64	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,800t (95)</li> <li>主産地：長崎 (39)、鹿児島 (27)、香川 (13)</li> </ul>	
	にんじん	156.99	138	119	113	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：8,380t (100)</li> <li>主産地：徳島 (68)、千葉 (22)、輸入 (3)、埼玉 (3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島産は、現在天候に恵まれ生育は順調であるものの、出荷は中旬以降徐々にピーク時から減少して、5月で終える見込みであり、平年をやや下回る見込み。</li> <li>徳島産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		148.36	137	115	106	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,300t (93)</li> <li>主産地：徳島 (54)、長崎 (36)、宮崎 (6)</li> </ul>	

種類	4月の価格情報			生育及び価格の5月の見通し	
	平年価格(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				
	上旬	中旬	下旬		
いも	-	221	221	246	—
	-	362	428	506	—
	131.80	108	111	125	・入荷見込量：10,680t (100) ・主産地：長崎（47）、鹿児島（27）、北海道（16）
ばれいしょ	131.80	104	113	126	・入荷見込量：4,600t (100) ・主産地：長崎（70）、鹿児島（14）、北海道（10）

注：  
 1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。  
 2 別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。  
 3 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
 4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。  
 5 主産地は、東京都及び大阪市を中心とした出荷が多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。  
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、3月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,903gで前年比99%、購入金額は、1,861円で同105%となり、購入数量は前年を下回ったが、購入金額は前年をやや上回った。

また、小売物価統計によると、4月のキャベツの小売価格は、210円で過去5か年平均比85%、レタスは、368円で同79%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均をかなり下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年			
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	前年比	購入金額(円)	前年比	
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106
2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742	105
3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	99	1,861	105
4月	4,747	1,838	5,019	1,809	—	0	0	0
5月	5,103	1,902	5,257	1,861	—	0	0	0
6月	5,092	1,885	5,249	1,897	—	0	0	0
7月	4,423	1,712	4,456	1,783	—	0	0	0
8月	4,324	1,713	4,422	1,741	—	0	0	0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863	—	0	0	0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932	—	0	0	0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806	—	0	0	0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093	—	0	0	0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成20～24年の平

主要野菜の小売価格(東京都区部)

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	198	267	135	673	684	102
2月	211	234	111	605	578	95
3月	200	200	100	498	459	92
4月	248	210	85	469	368	79
5月	169	0	371	0	0	0
6月	137	0	317	0	0	0
7月	153	0	322	0	0	0
8月	140	0	415	0	0	0
9月	149	0	506	0	0	0
10月	158	0	449	0	0	0
11月	162	0	421	0	0	0
12月	162	0	521	0	0	0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。

2 平成26年4月の値は、4月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比168%(中国は同158%、ニュージーランドは同32%)の3万4千トン、にんじんは、同67%(中国は同62%、台湾は同64%)の6千トン、ねぎは、117%(中国は同117%)の5千トンとなった。たまねぎ及びねぎは、前年を大幅に上回り、にんじんは、前年を大幅に下回った。

野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

区分	平成24年		平成25年		平成26年1～3月		平成26年3月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年月比	前年月比
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	274,266	120	96,566	107
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	443,233	103	152,567	115
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	717,499	109	249,133	112
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	356,186	110	120,087	116
中国産シェア	51		52		50		48	

資料：ベジ探(原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成25年4月(A)		平成26年4月(B)		(B)/(A)	
		平成25年4月(A)	平成26年4月(B)	平成25年4月(A)	平成26年4月(B)	平成25年4月(A)	平成26年4月(B)
たまねぎ	合計	20,269	34,130	168			
	中国	16,685	26,334	158			
にんじん	合計	9,615	6,465	67			
	中国	7,338	4,559	62			
ねぎ	合計	3,870	4,509	117			
	中国	3,818	4,473	117			

資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年4月は、速報値。

## 4 トップ — 野菜の輸入動向(26年1月～3月) —

平成26年1月～3月の野菜全体の輸入量は、生育期の天候不順による国内産の減産等により、国内の生育が順調で輸入量が減少した前年に比べ9.1%増の71.7万トンと2年ぶりに増加した。類別では、生鮮野菜が同20.1%増の27.4万トン、冷凍野菜が同8.0%増の21.9万トン、塩蔵野菜、その他調製野菜は減少した。生鮮野菜の対前年増加率20.1%の内訳(品目別寄与度)を見ると、北海道産が小玉傾向であったたまねぎが16.6%、高値基調が一時続いたキャベツが3.3%と高く、同じく冷凍野菜の品目別寄与度では、昨年輸入量が減少したばれいしょが3.9%、その他の冷凍野菜が2.2%、ほうれんそう等が0.8%であった。

一方、同期間の約50%を占めた中国産輸入量は、前年に比べ9.9%増の35.6万トンとなった。類別では、生鮮野菜が同21.7%増、冷凍野菜が同8.2%増、乾燥野菜、その他調製野菜が同20.9%増、塩蔵野菜、その他調製野菜が減少した。同様に生鮮野菜の品目別寄与度を見るると、たまねぎが23.1%、キャベツが2.0%と高く、冷凍野菜の品目別寄与度では、その他の冷凍野菜が5.0%、ほうれんそう等が2.1%であった。

中国産の冷凍野菜品目別で最も高い寄与度となった冷凍ほうれんそうは、平成14年に発覚した残留農薬問題で輸入業者に対し輸入自粛等が求められ輸入量が大幅に減少したが、平成16年に中国側で栽培・加工の管理体制が整備された一部の生産企業等だけが対日輸出できる体制が整えられたこと等から輸入は増加基調を示している。

野菜の輸入動向(類別、1月～3月)

野菜輸入の増加率の品